

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	林道改良事業(単独)				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)	
部等名	産業経済部	課等名	林務課		包含する細々目	1	6	2	2	22	1	9,650	
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり												
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動												
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議		不要							
		事業期間		年度～	年度								
						関連計画 条例等	森林・林業基本法、伊那谷地域森林計画、飯田市森林整備計画						

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	未改良及び未舗装の林道	未改良林道の整備計画延長(m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		23年度以前に終了は終了年度とする
			2457			
		未舗装林道の整備計画延長(m)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
				8229		
意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)				
舗装、改良を行い、林道の機能の回復を図る	改良延長(累計)(m)	18目標	304	最終目標		
		18実績	23	19目標	404	
	23目標	804	23実績		最終目標達成年度	
	舗装延長(累計)(m)	18目標	816	最終目標		
		18実績	469	19目標	916	
		23目標	1316	23実績		

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	林道を開設、舗装、改良することにより、森林整備の推進や木材搬出経費の削減を図る 合併により人家集落生活関連施設に直結する林道が増加したため、より安全確保や通行確保のための改良工事が必要となった。	18年度の実績 林道改良工事 千遠線改良=13m、赤石線改良=10m 林道舗装工事 大峯線(舗装工L=173m)、闇り沢線(舗装工L=153m)千遠線(舗装工L=143m)	林道改良舗装延長(m)	492
		19年度計画 林道改良工事 鷹ノ巣線(法面保護工L=30m)、鳩打線(法面保護工L=55m)、千遠線(法面保護工L=50m)、赤石線(法面保護工L=50m) 林道舗装工事 大峯線(舗装工L=100m)	林道改良舗装延長(m)	285

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
	一般財源	7,686	7,500
事業費計(A)	7,686	7,500	
人件費	正規職員所要時間	18年度 180	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	644	0
	トータルコストA+B	8,330	7,500

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	出荷額を高める活動をする	林業生産額(億円)	現状値	7	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績		23目標	7.5
	経済的自立度(%)		現状値		19実績	
			20実績		21実績	
22実績				23目標	60	

この事業を開始したきっかけ 林道を管理するうえで、通行の安全確保や維持補修並びに機能回復の必要が生じたため	事業を取り巻く状況の変化 安全安心に通行できるようになった。	事業に対する市民や議会の意見 森林所有者や利用者から各路線個ごとに要望がある。
--	-----------------------------------	--

### 【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？ (評価) 結びつく (その理由) 林道を機能回復することにより通行の安全確保と利便性を高めるため	有効性 評価	成果をさらに向上させる余地はありますか？ (評価) 余地がある (その理由) コスト縮減
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？ (評価) 必要性がある (その理由) 林道の維持管理上改良要望箇所が数多くあるため、拡大する必要がある。		廃止・休止した場合の影響はありますか？ (評価) 影響あり (その理由) いずれも緊急を要する箇所での施工であり、安全性が保持できない。
	意図の見直しの必要性はありますか？ (評価) 必要性がない (その理由) 林道を快適に通行できることで森林保全管理が推進できる。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 統合不可能 (類似事業名、理由) 林道改良事業(補助)、林道舗装事業開設40,000千円、舗装24,000千円、改良10,000千円以上が上記の採択基準であり、当事業はその事業費に満たない比較的小規模の事業を想定しているため不可能
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか) (評価) 必要ある (その理由) 林道は森林管理を図るうえで重要な社会基盤である。		他に類似事業はありますか。また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む) (評価) 不可能 (その理由) 工事におけるコスト縮減で可能だが、微細であり、相応の事業費は必要である。測量設計の委託化で可能だが、外注するほどの事務量ではない。
		効率性 評価	成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？ (評価) 不可能 (その理由)
		公平性 評価	受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？ (評価) 妥当である (受益者とその理由) 林道開設は森林所有者などから相応の負担金を徴収している。改良及び舗装については林道の機能回復や維持管理面が強いので管理者である市で負担している。

### 【Plan】改革改善

<b>今後の事業の方向性</b> <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<b>実施年度</b> <input type="checkbox"/> 2024年度 <input type="checkbox"/> 2025年度 <input type="checkbox"/> 2026年度 <input type="checkbox"/> 2027年度 <input type="checkbox"/> 2028年度 <input type="checkbox"/> 2029年度 <input type="checkbox"/> 2030年度 <input type="checkbox"/> 2031年度 <input type="checkbox"/> 2032年度 <input type="checkbox"/> 2033年度 <input type="checkbox"/> 2034年度 <input type="checkbox"/> 2035年度 <input type="checkbox"/> 2036年度 <input type="checkbox"/> 2037年度 <input type="checkbox"/> 2038年度 <input type="checkbox"/> 2039年度 <input type="checkbox"/> 2040年度 <input type="checkbox"/> 2041年度 <input type="checkbox"/> 2042年度 <input type="checkbox"/> 2043年度 <input type="checkbox"/> 2044年度 <input type="checkbox"/> 2045年度 <input type="checkbox"/> 2046年度 <input type="checkbox"/> 2047年度 <input type="checkbox"/> 2048年度 <input type="checkbox"/> 2049年度 <input type="checkbox"/> 2050年度 <input type="checkbox"/> 2051年度 <input type="checkbox"/> 2052年度 <input type="checkbox"/> 2053年度 <input type="checkbox"/> 2054年度 <input type="checkbox"/> 2055年度 <input type="checkbox"/> 2056年度 <input type="checkbox"/> 2057年度 <input type="checkbox"/> 2058年度 <input type="checkbox"/> 2059年度 <input type="checkbox"/> 2060年度 <input type="checkbox"/> 2061年度 <input type="checkbox"/> 2062年度 <input type="checkbox"/> 2063年度 <input type="checkbox"/> 2064年度 <input type="checkbox"/> 2065年度 <input type="checkbox"/> 2066年度 <input type="checkbox"/> 2067年度 <input type="checkbox"/> 2068年度 <input type="checkbox"/> 2069年度 <input type="checkbox"/> 2070年度 <input type="checkbox"/> 2071年度 <input type="checkbox"/> 2072年度 <input type="checkbox"/> 2073年度 <input type="checkbox"/> 2074年度 <input type="checkbox"/> 2075年度 <input type="checkbox"/> 2076年度 <input type="checkbox"/> 2077年度 <input type="checkbox"/> 2078年度 <input type="checkbox"/> 2079年度 <input type="checkbox"/> 2080年度 <input type="checkbox"/> 2081年度 <input type="checkbox"/> 2082年度 <input type="checkbox"/> 2083年度 <input type="checkbox"/> 2084年度 <input type="checkbox"/> 2085年度 <input type="checkbox"/> 2086年度 <input type="checkbox"/> 2087年度 <input type="checkbox"/> 2088年度 <input type="checkbox"/> 2089年度 <input type="checkbox"/> 2090年度 <input type="checkbox"/> 2091年度 <input type="checkbox"/> 2092年度 <input type="checkbox"/> 2093年度 <input type="checkbox"/> 2094年度 <input type="checkbox"/> 2095年度 <input type="checkbox"/> 2096年度 <input type="checkbox"/> 2097年度 <input type="checkbox"/> 2098年度 <input type="checkbox"/> 2099年度 <input type="checkbox"/> 2100年度	<b>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</b> 2村合併により、19路線、延長63.5km増加したため、改良箇所が多くなったが、重要路線(緊急に間伐等森林整備を必要とする区域)により重点化して整備し、かつ、設計段階ではさらにコスト縮減を図る。
上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法	合併により観光入り込み路線が増加したため、安全対策等の強化が必要	

#### 【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	必要性がある	(2) 必要性な場合の実施事由	2- その他、必要が生じたとき
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	材料工種等に環境に配慮した取組をしている		

#### 【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	